

第 1 章

ベクトル



ベクトルと次元


いくつかの情報の組を並べて書いたものをベクトルという

また、ベクトルに並んだ情報の個数を次元という

ref: 図解でわかる線型
代数 p16~19



n 次の数ベクトル空間

 ベクトルの集合が張る空間 k 個のベクトル $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k \in \mathbb{R}^n$ を与えたとき、 $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$ の線形結合全体の集合を

$$\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k \rangle$$

によって表し、これを $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_k$ が張る空間という

ref: 行列と行列式の基礎
p6~8